

しなののうた

幼らと遊ぶブランコ滑り台跡形もなく記憶の底に



杉田小百合

しなののうた

ベンチより納骨堂を眺むれば夫の眠るる歲月遙か

杉田小百合



しなののうた

大樹なるヒマラヤ杉の影もなく甦りくる青春の日ぞ



杉田小百合

しなののうた

白鷺の一羽が浮かぶ寺の池餌を漁るる長閑な一日

杉田小百合



しなののうた

鐘堂の昼告げる鐘四つ鳴りて懐旧しばし塩むすび食ぶ



杉田小百合